

米国におけるジェトロ事業

日本企業の米国へのビジネス展開を支援するとともに、米国企業の対日投資を促進。双方向のビジネス交流を支援することにより、日米経済関係の一層の緊密化に貢献。直接投資等を通じた現地での雇用創出等により米経済へも貢献。

80年代

90年代

2000年

2010年

米国の市場開放要求強まる

外部環境

ジェトロ事業の柱

輸入促進事業の本格実施

- 対日輸出有望商品発掘事業（長期専門家）
- 輸入商品発掘専門家派遣（有望商品のサンプル買付）
- サンプル展示会
- 輸入住宅展示場
- 輸入自動車展示場

産業別グラスルーツ活動

自動車

○日米の自動車業界・企業への強力なネットワーク、州政府・業界団体など日米の地域経済を繋ぐネットワークを基に、時代に応じたビジネス・産業交流を実施。



産業の動き
ニーズ

日系メーカー、サプライヤーが米進出

ジェトロの
支援

州政府と連携。進出先の選定を支援

外部環境

ジェトロ事業の柱

対日投資は「日本経済活性化の鍵」

輸出は農林水産物・食品の販路拡大につながる重要な手段

対日投資、農林水産・食品の市場開拓、日本企業の海外展開支援を三本柱に

対日投資

- 「対日投資セミナー」を過去3年で全米で57回開催。うち、安倍総理も4回ご登壇。
- 政府目標「対日投資残高を2020年までに35兆円に倍増する（2012年比）」への貢献
- 2003～2016年度の米国からの誘致成功件数453件（全体の28.7%）



農林水産・食品の市場開拓

- 政府目標「2020年輸出額1兆円」へ貢献
- 国別輸出拡大戦略（米国、カナダ）踏まえた取り組み
- 一層の市場開拓が期待できるテキサス、フロリダ、ハワイ州などでの取り組み強化



○「初めての輸出」支援

○具体的な販路確保・拡大、マーケティング支援

イノベーション

- 中小・ベンチャー企業のハンズオン支援（シリコンバレー）

ライフサイエンス

- 「BIO International Convention」や「MD&D West」での商談支援等

日用品

- 「NY Now」や「Liberty Fair」での商談支援等

機械・部品

- 「Consumer Electronic Show」や「Fabtech 2017」での商談支援等

航空・宇宙

- 「Space Symposium」での商談支援、愛知県、埼玉県の地域間交流支援

サービス産業

- 「サービス産業ミッション」派遣、コーディネーターを通じた支援等

現地調達比率の向上が重要課題に

米サプライヤーとの「逆見本市」開催

信頼できる米サプライヤーの発掘が重要課題に

日本の「ものづくり」の精神を普及啓発するセミナー開催

日系サプライヤー販路多角化、米メーカー次世代技術ニーズの高まり

デトロイト3 本社で、日系サプライヤーとの商談会を開催

日本企業の米国投資を後押しするセミナーを国内、米国で過去4年間 **269** 回開催。うち、州政府との共催 **31** 回（州知事は6回参加）